

**令和7年度
従業員エンゲージメントサーベイ
結果報告書**

令和8年3月

岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室

令和7年度 従業員エンゲージメントサーベイ 結果

調査の概要

■調査の目的：

企業における従業員エンゲージメントを高める取組を促進し、調査を通じて企業におけるアンコンシャスバイアスやジェンダーギャップの解消を図りながら、若者や女性などが働きやすく、働きがいのある職場づくりを推進し、結果を踏まえた優良事例の普及や県内企業への的確な支援に繋げることを目的とする。

■調査の対象：

いわて働き方改革推進運動参加企業

■調査の時期：

令和7年9月5日（金）～令和8年1月19日（月）

■調査事項：

回答者属性、組織風土・職場環境、ワーク・ライフ・バランス、人事制度・処遇など

■調査方法：

インターネットを利用した Web フォームによる報告方式

■集計：

いわて働き方改革サポートデスク（ジョブカフェいわて）

■調査対象数：

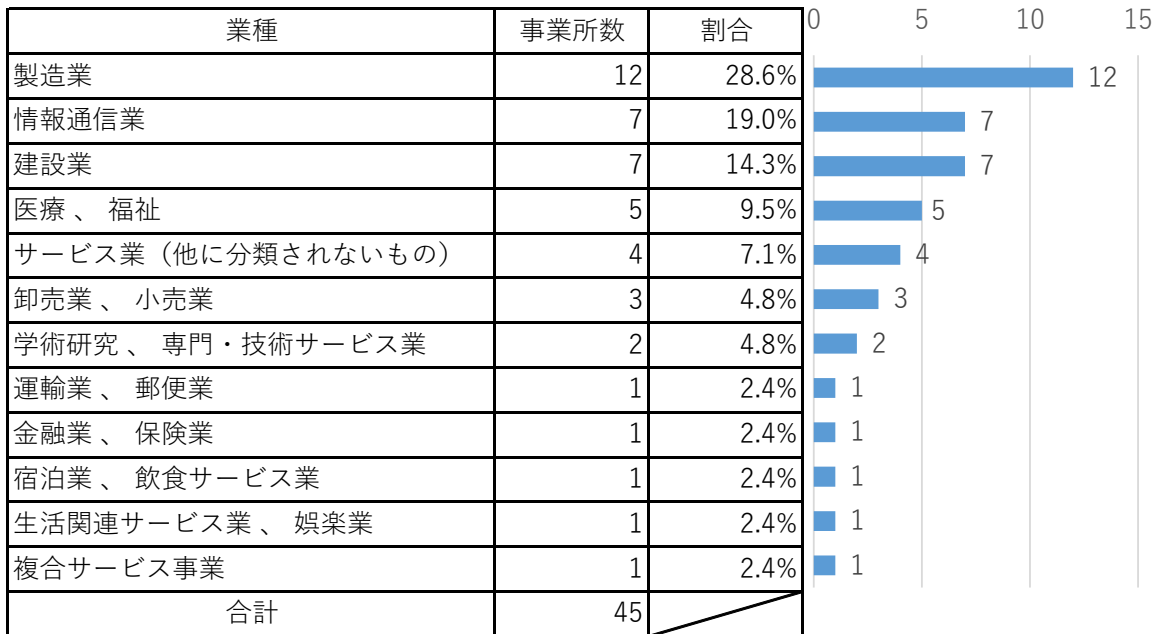
1128 事業所

■回答数：

45 事業所 1509 名

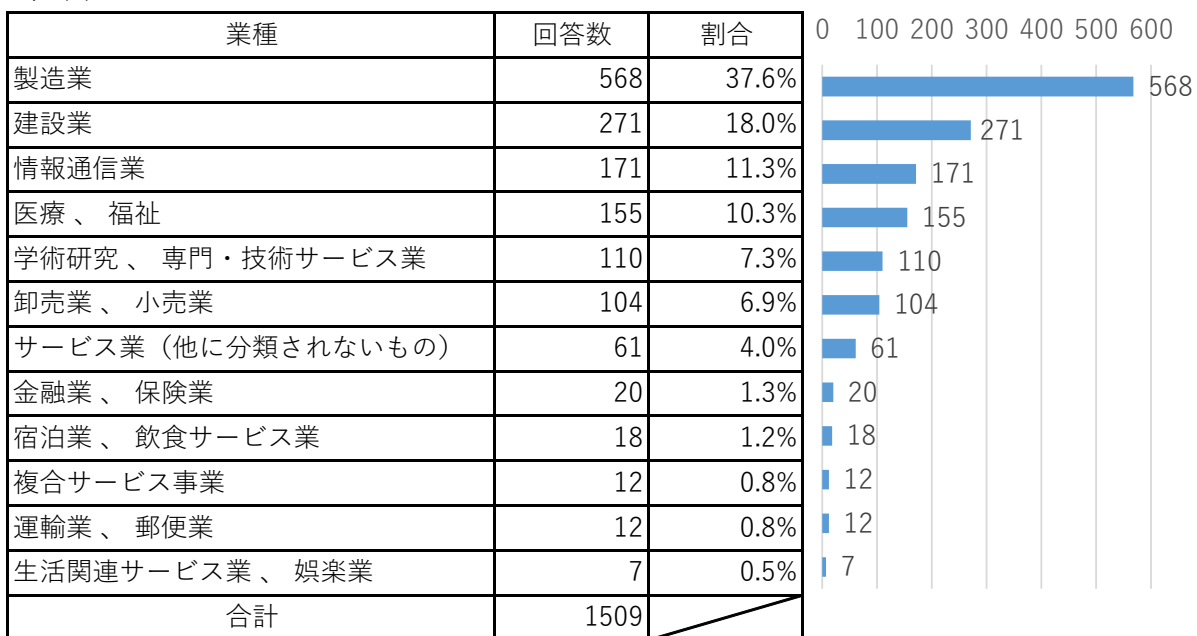
[回答事業所の属性]

1、業種

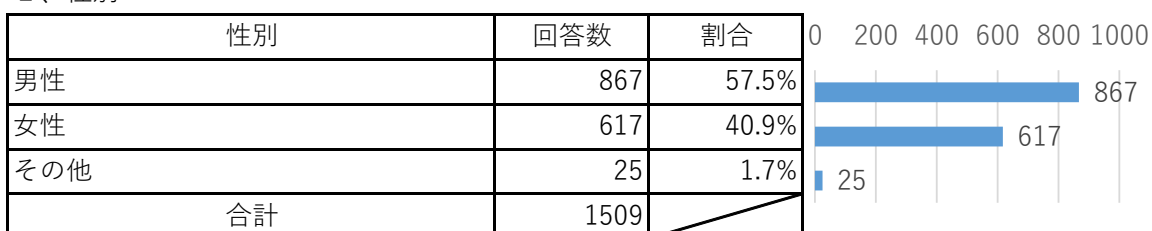


[回答者の属性]

1、業種



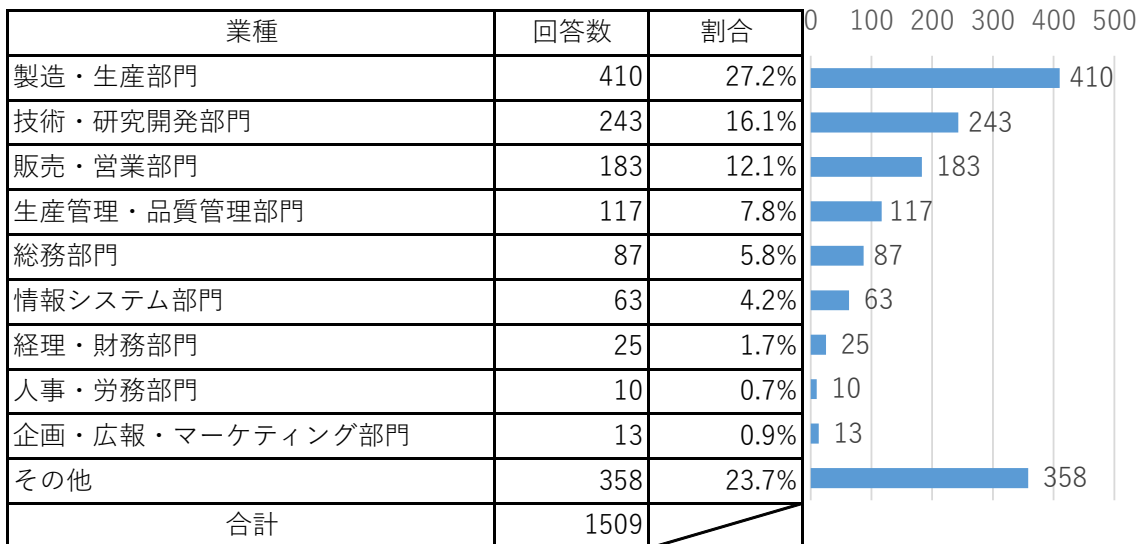
2、性別



3、年代



4、所属部署（最も近いもの）



5、役職（最も近いもの）



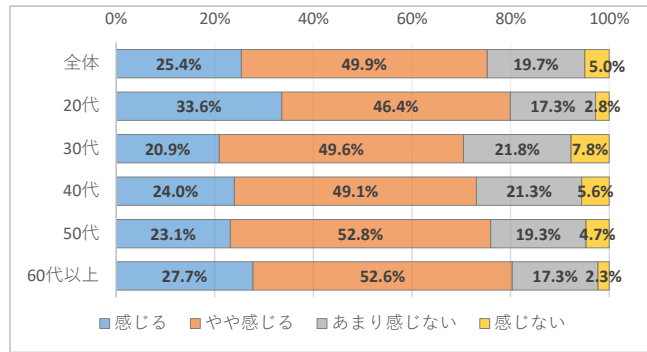
【1】 現在の状況や、仕事を通じた自身の成長についてお聞きます。

問1-1 現在の仕事にやりがいを感じていますか。

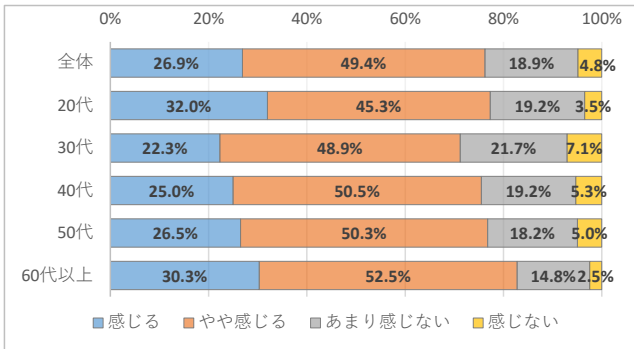
○全体では、仕事にやりがいを感じる(「感じる」+「やや感じる」)の割合が75.3%となっており、やりがいを感じない(「あまり感じない」+「感じない」)の24.7%を大きく上回っている。

○感じるの割合を属性別にみると、年代では60代以上(80.3%)がやや高く、性別では男性(76.3%)が高くなっている。

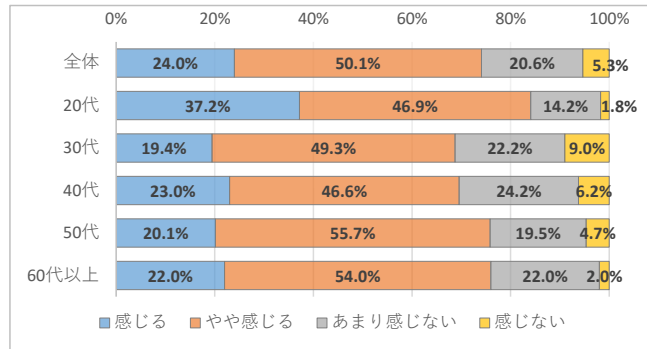
【全体】 ※全体は男性、女性、その他の合計であること(以下同様)



【男性】



【女性】

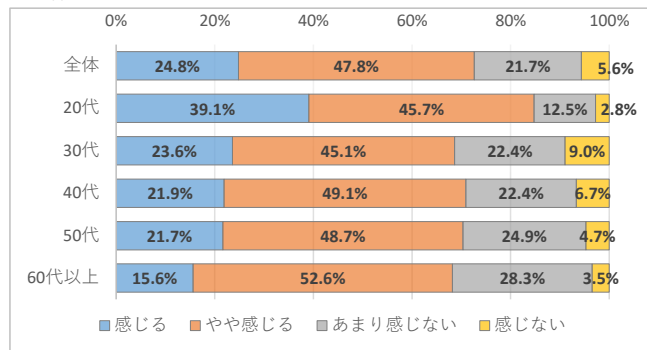


問1-2 現在の職場が、スキル・能力が身につく環境だと感じていますか。

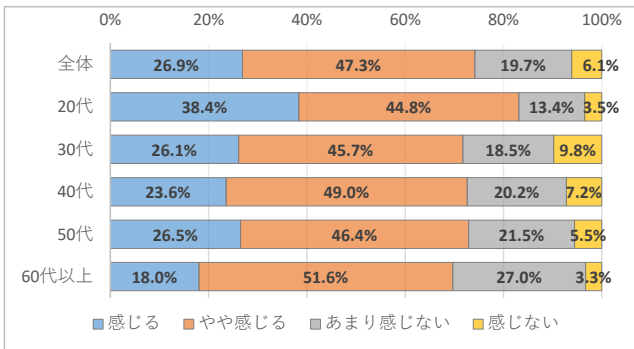
○全体では、スキルや能力が身につく環境だと感じる(「感じる」+「やや感じる」)の割合が72.6%となっており、感じない(「あまり感じない」+「感じない」)の27.3%を大きく上回っている。

○感じるの割合を属性別にみると、年代では20代(84.8%)、性別では男性(74.2%)が高くなっている。

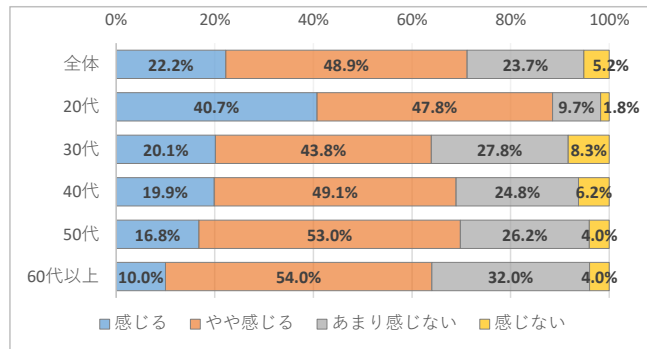
【全体】



【男性】



【女性】

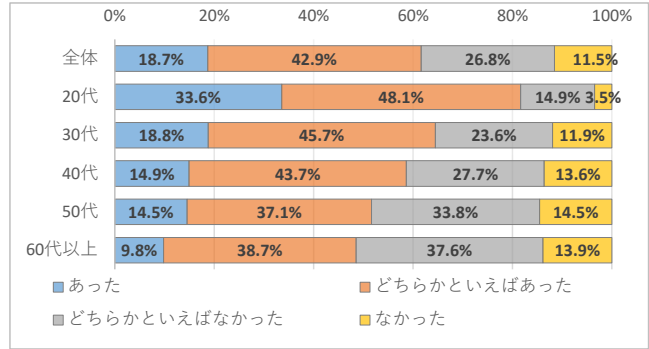


問1-3 ここ1年の間に自身の仕事について、職場で褒められたり、認められたりすることがありましたか。

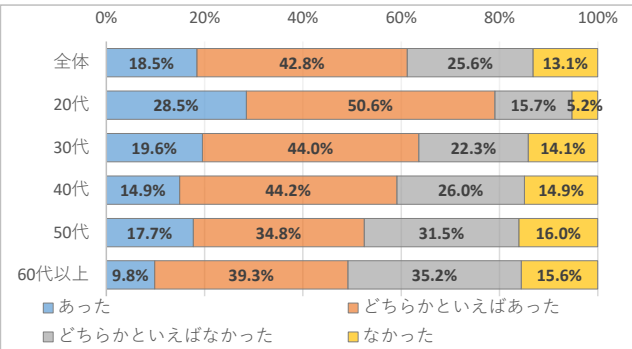
【全体】

○全体では、仕事について職場で褒められたり、認められたりすることがあった(「あった」+「どちらかといえばあった」)の割合が61.6%となっており、なかった(「どちらかといえばなかった」+「なかった」)の38.3%を大きく上回っている。

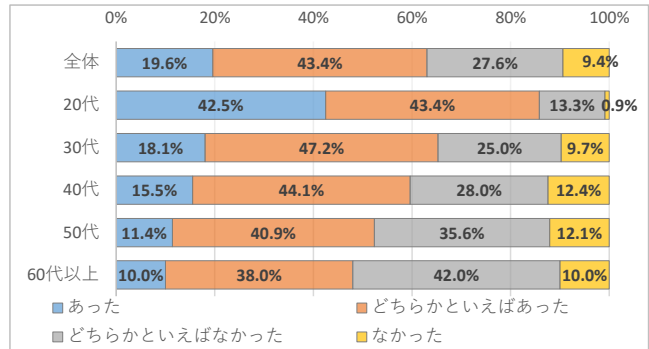
○あったの割合を属性別にみると、年代では20代(81.7%)、性別では女性(63.0%)が高くなっている。



【男性】



【女性】

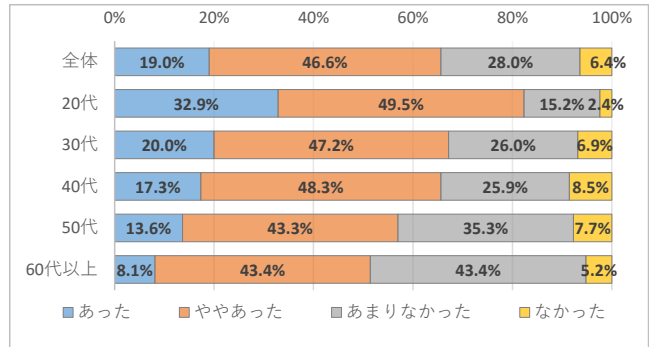


問1-4 ここ1年の間に、あなたは仕事を通じて学び、自身が成長したと実感することはありましたか。

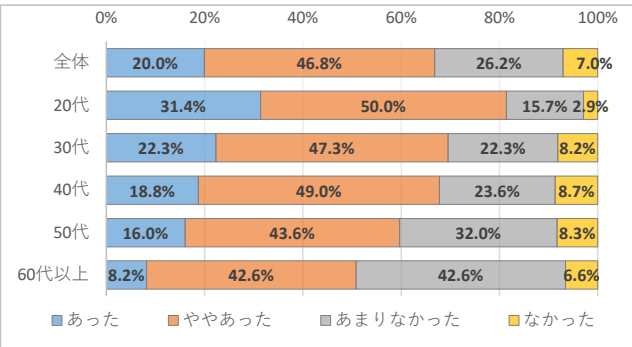
【全体】

○全体では、仕事を通じて学び、自身が成長したと実感することがあった(「あった」+「ややあった」)の割合が65.6%となっており、なかった(「あまりなかった」+「なかった」)の34.4%を大きく上回っている。

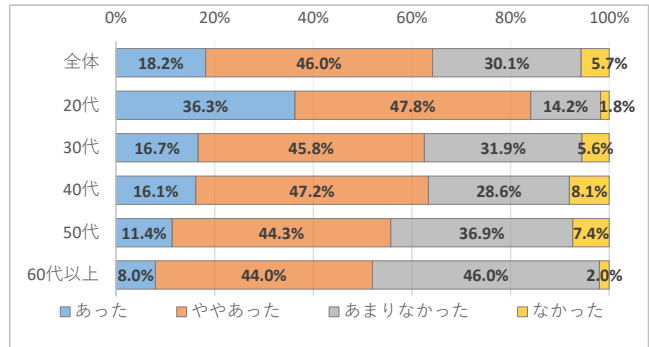
○あったの割合を属性別にみると、年代では20代(82.4%)、性別では男性(66.8%)が高くなっている。



【男性】



【女性】

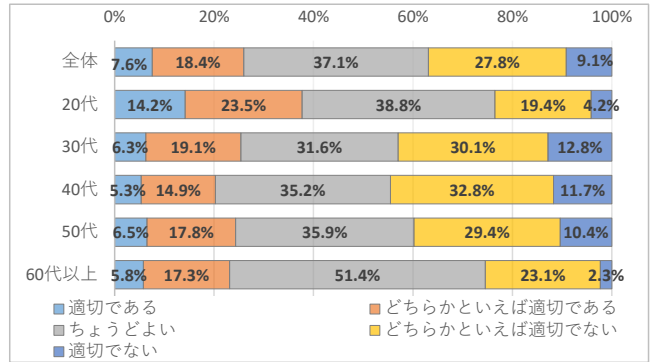


問1-5 現在の自分の業務量についてどのように感じていますか。

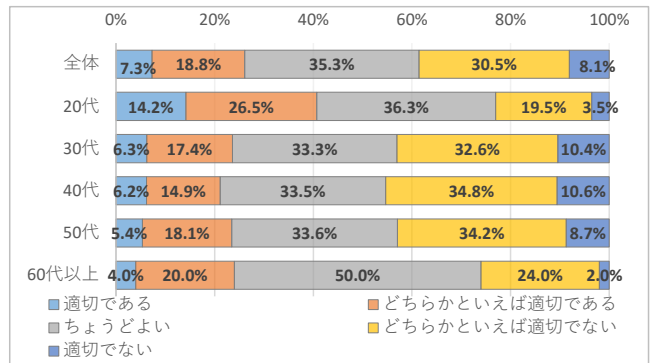
○全体では、自分の業務量について適切である(「適切である」+「どちらかといえば適切である」)の割合が26.0%となっており、適切でない(「どちらかといえば適切でない」+「適切でない」)の割合は36.9%、ちょうどよいは、37.1%となっている。

○適切であるの割合を属性別にみると、年代では20代(37.7%)が高く、性別では男性(26.2%)がやや高くなっている。

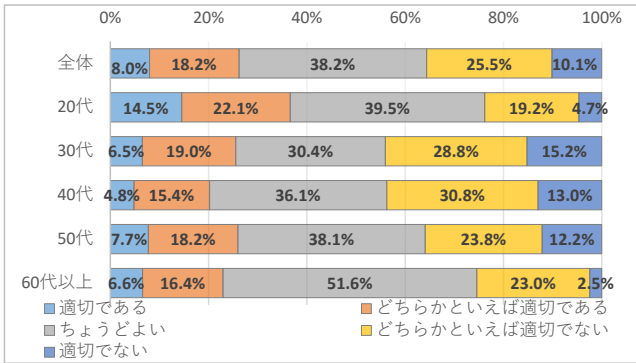
【全体】



【女性】



【男性】



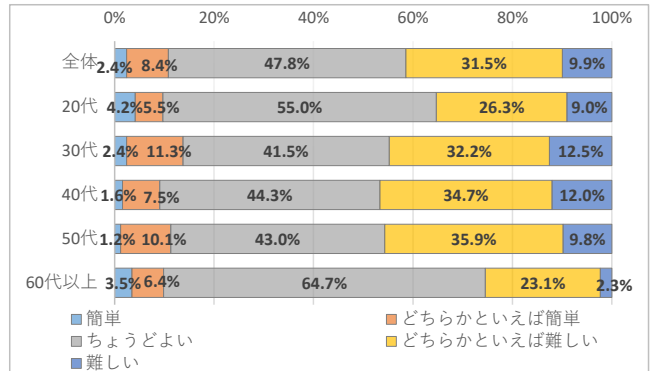
問1-6 現在の自分の業務難易度についてどのように感じていますか。

○全体では、自分の業務難易度について簡単(「簡単」+「どちらかといえば簡単」)の割合が10.8%であり、難しい(「どちらかといえば難しい」+「難しい」)の割合41.4%、ちょうどよいは47.8%となっている。

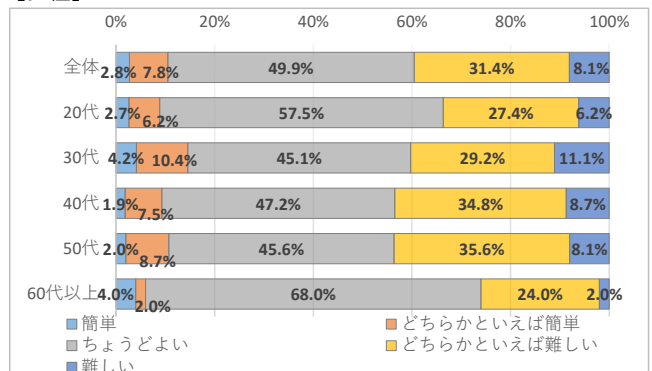
○簡単の割合を属性別にみると、年代では30代(13.7%)が高く、性別では男性(11.1%)がやや高くなっている。

○難しいの割合を属性別にみると、年代では40代(46.7%)がやや高く、性別では男性(43.2%)が高くなっている。

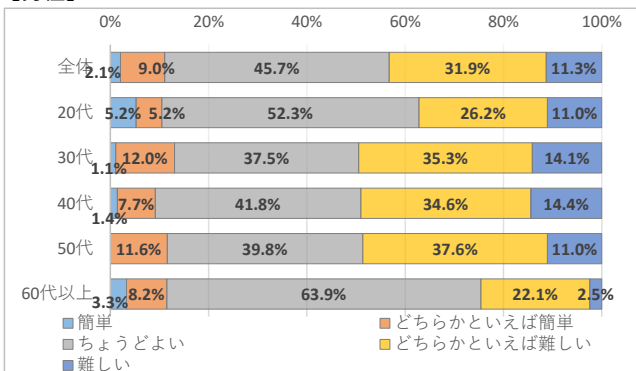
【全体】



【女性】



【男性】



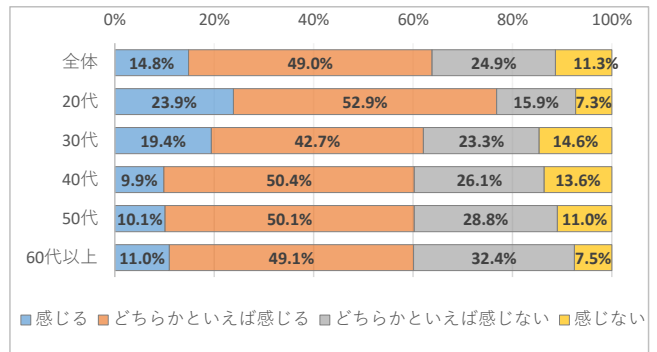
【2】職場の環境や同僚・上司との関係についてお聞きます。

問2-1 職場では、自由に意見や提案をしやすく、またそれらの意見が尊重されていると感じますか。

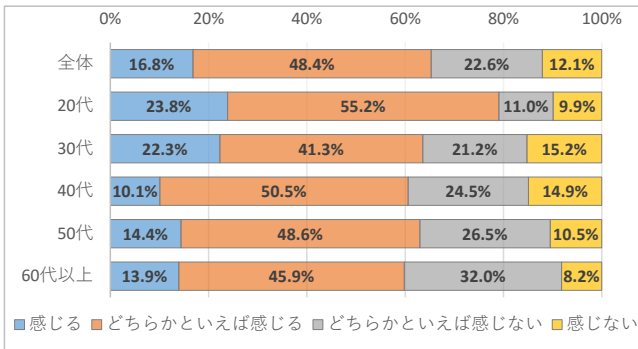
○全体では、自由に意見を提案しやすく、意見が尊重されていると感じる(「感じる」+「どちらかといえば感じる」)の割合が63.8%となっており、感じない(「どちらかといえば感じない」+「感じない」)の36.2%を大きく上回っている。

○感じるの割合を属性別にみると、年代では20代(76.8%)、性別では男性(65.2%)が高くなっている。

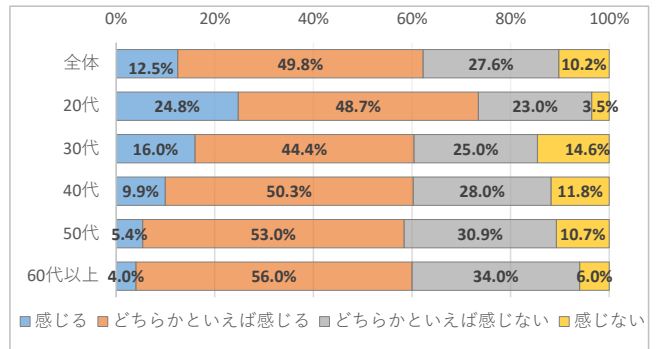
【全体】



【男性】



【女性】

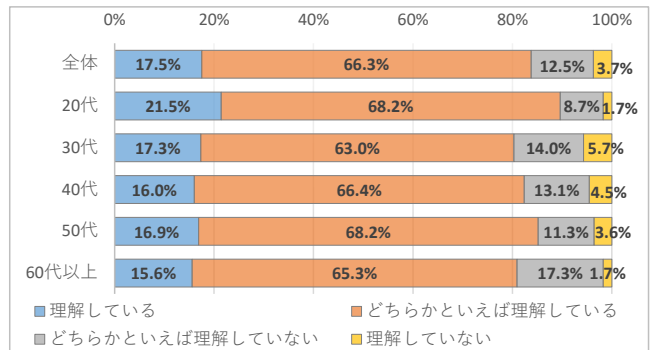


問2-2 職場の上司や同僚から期待される役割や業務内容を理解していますか。

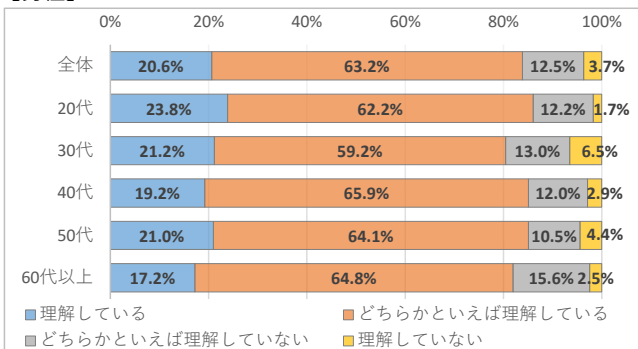
○全体では、上司や同僚から期待される役割や業務内容を理解している(「理解している」+「どちらかといえば理解している」)の割合が83.8%となっており、理解していない(「どちらかといえば理解していない」+「理解していない」)の16.2%を大きく上回っている。

○理解しているの割合を属性別にみると、年代では20代(89.7%)が高く、性別では男性(83.8%)がやや高くなっている。

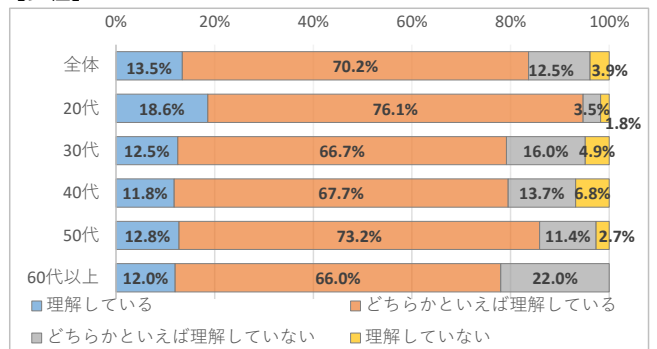
【全体】



【男性】



【女性】

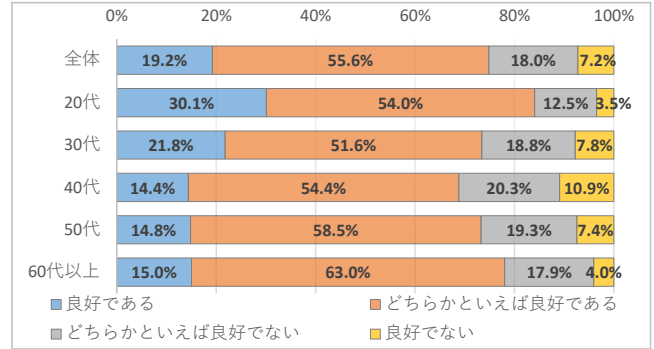


問2-3 職場のチームワークや人間関係は良好ですか。

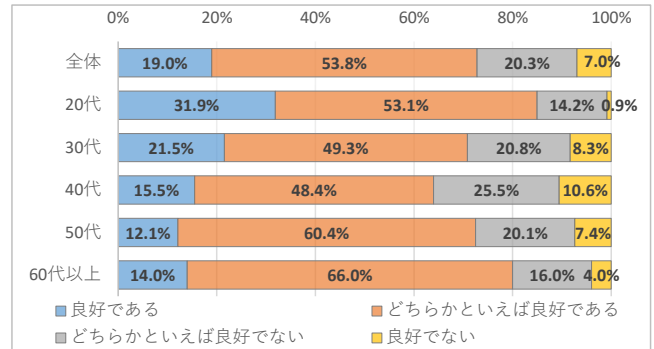
○全体では、職場のチームワークや人間関係は良好である(「良好である」+「どちらかといえば良好である」)の割合が74.8%となっており、良好でない(「どちらかといえば良好でない」+「良好でない」)の25.2%を大きく上回っている。

○良好であるの割合を属性別にみると、年代では20代(84.1%)、性別では男性(76.4%)が高くなっている。

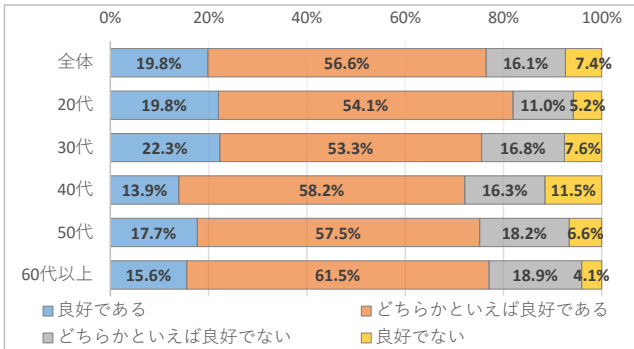
【全体】



【女性】



【男性】

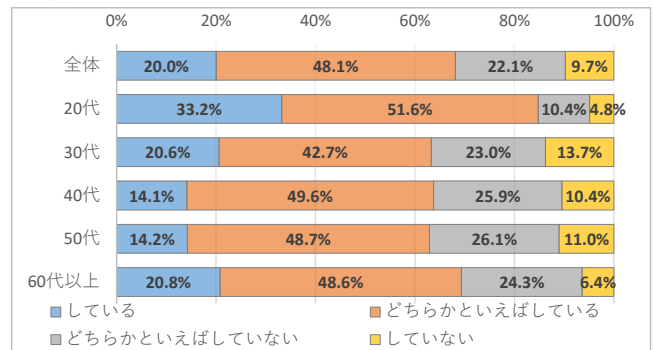


問2-4 上司は適切な指導や育成、業務支援等のマネジメントをしていますか。

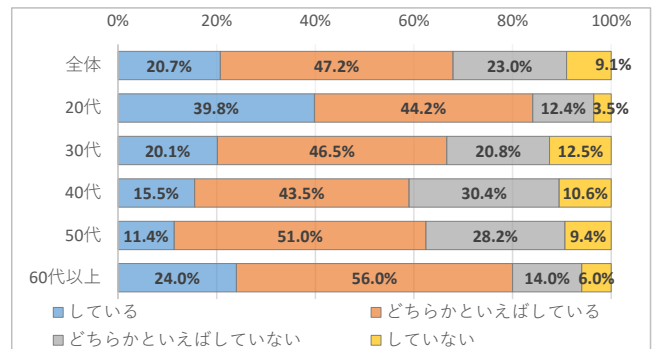
○全体では、上司は適切な指導や育成、業務支援等のマネジメントをしている(「している」+「どちらかといえばしている」)の割合が68.1%となっており、していない(「どちらかといえばしていない」+「していない」)の31.8%を大きく上回っている。

○しているの割合を属性別にみると、年代では20代(84.8%)が高く、性別では男性(68.8%)がやや高くなっている。

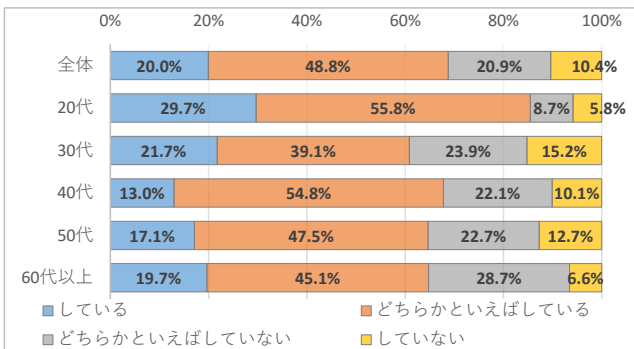
【全体】



【女性】



【男性】

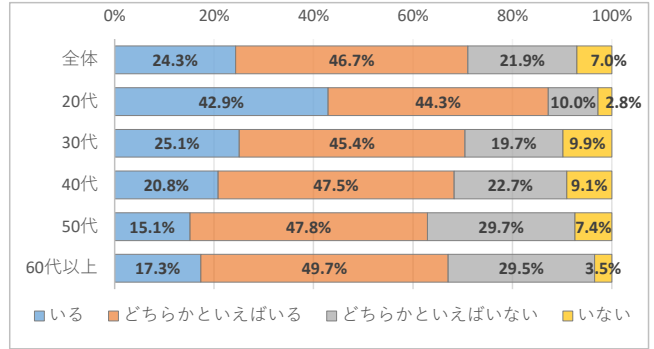


問2-5 職場には、仕事の成長を支援してくれたり、気遣ってくれる人がいますか。

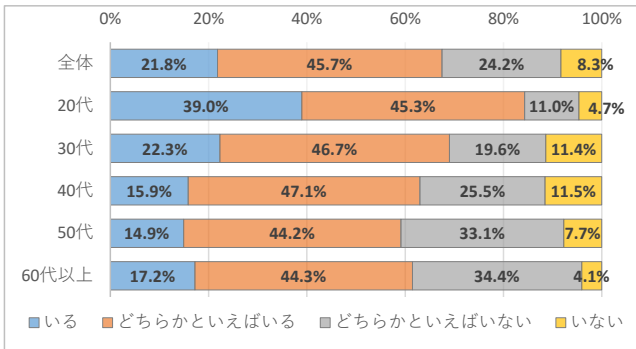
○全体では、仕事の成長を支援してくれたり、気遣ってくれる人がいる(「いる」+「どちらかといえばいる」)の割合が71.0%となっており、いない(「どちらかといえばいない」+「いない」)の28.9%を大きく上回っている。

○いるの割合を属性別にみると、年代では20代(87.2%)、性別では女性(76.0%)が高くなっている。

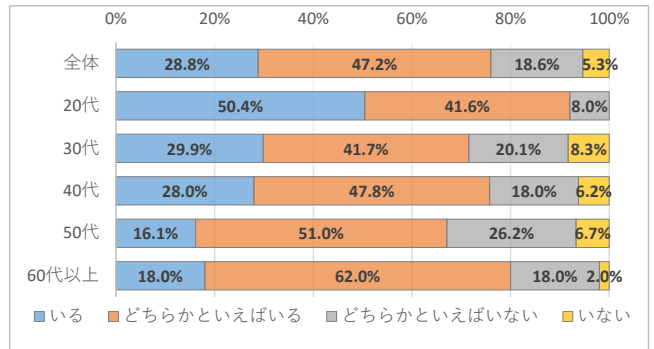
【全体】



【男性】



【女性】

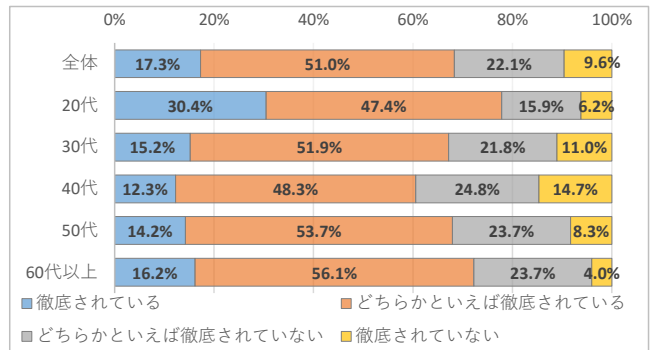


問2-6 各種ハラスメントの防止が徹底されていますか。

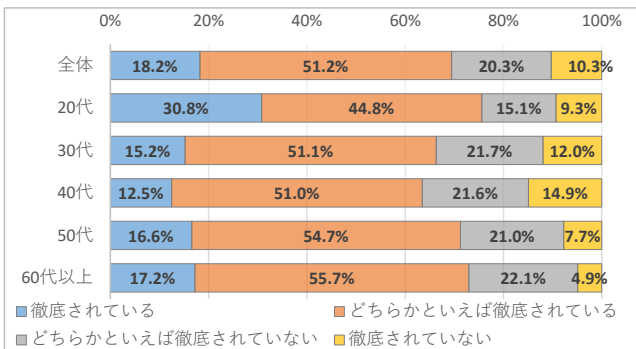
○全体では、各種ハラスメントの防止が徹底されている(「徹底されている」+「どちらかといえば徹底されている」)の割合が68.3%となっており、徹底されていない(「どちらかといえば徹底されていない」+「徹底されていない」)の31.7%を大きく上回っている。

○徹底されているの割合を属性別にみると、年代では20代(77.8%)、性別では男性(69.4%)が高くなっている。

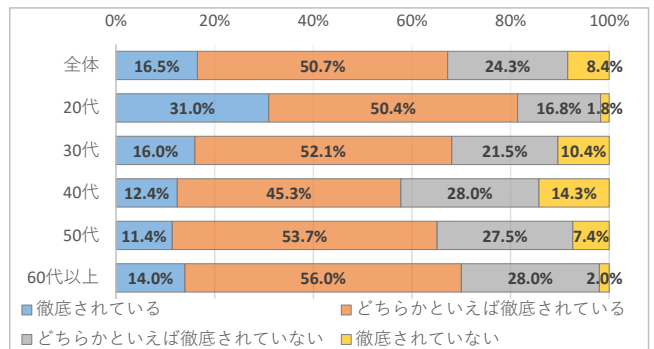
【全体】



【男性】



【女性】



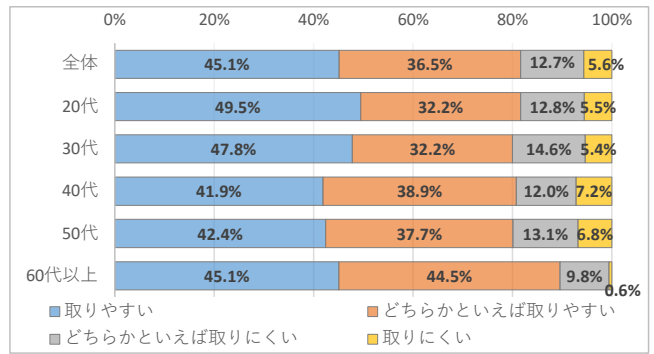
【3】ワーク・ライフ・バランスについてお聞きします。

問3-1 休暇が取りやすい環境ですか。

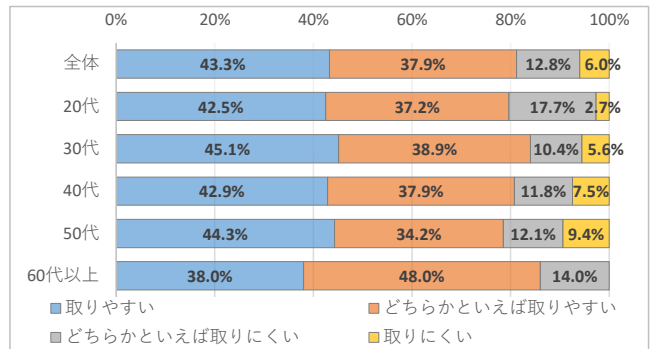
○全体では、休暇が取りやすい(「取りやすい」+「どちらかといえば取りやすい」)の割合が81.6%となっており、取りにくい(「どちらかといえば取りにくい」+「取りにくい」)の18.3%を大きく上回っている。

○取りやすいの割合を属性別にみると、年代では60代以上(89.6%)が高く、性別では男性(81.7%)がやや高くなっている。

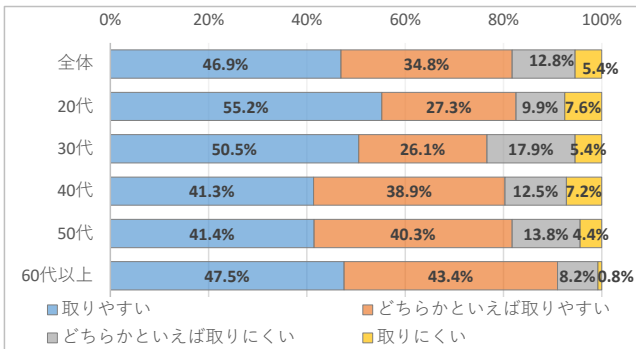
【全体】



【女性】



【男性】

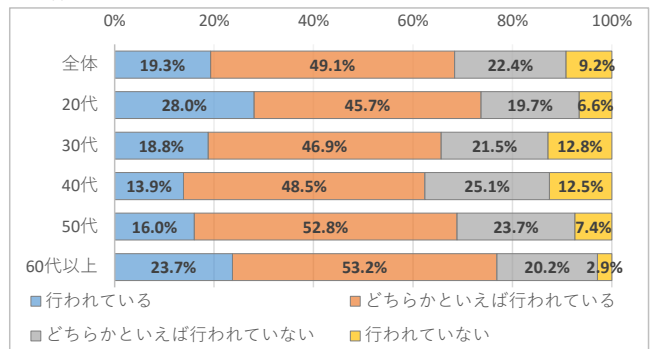


問3-3 長時間労働の抑制や業務改善、職場環境改善など、従業員の働きやすさに向けた取組が行われていますか。

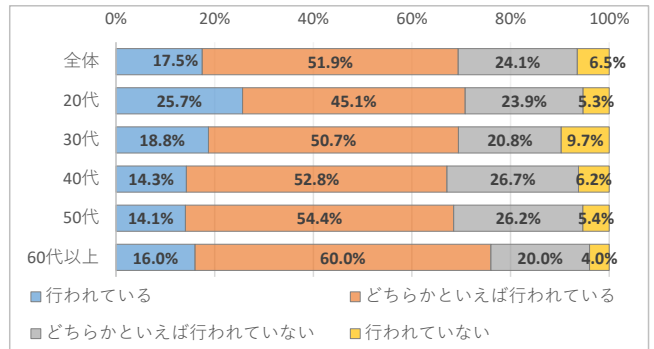
○全体では、長時間労働の抑制や業務改善、職場環境改善など、従業員の働きやすさに向けた取り組みが行われている(「行われている」+「どちらかといえば行われている」)の割合が68.4%となっており、行われていない(「どちらかといえば行われていない」+「行われていない」)の31.6%を大きく上回っている。

○行われているの割合を属性別にみると、年代では60代以上(76.9%)、性別では女性(69.4%)が高くなっている。

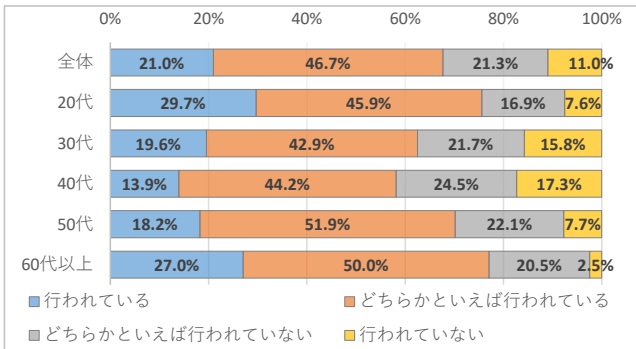
【全体】



【女性】



【男性】

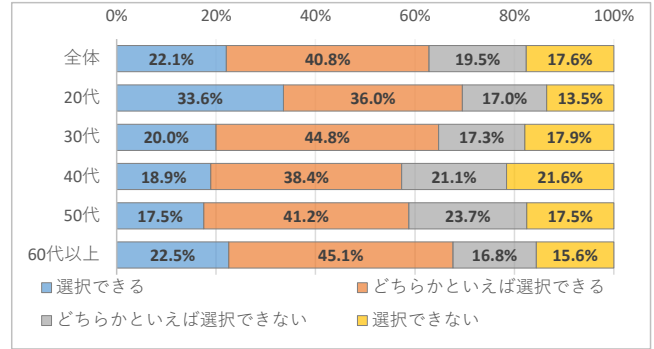


問3-4 事情に応じて出勤時間の調整やテレワーク等、柔軟な働き方を選択することができますか。

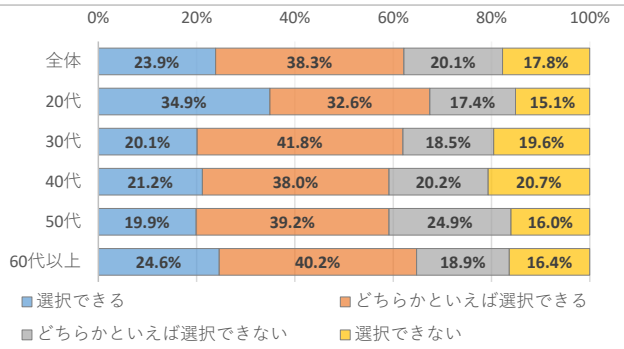
【全体】

○全体では、事情に応じて出勤時間の調整やテレワーク等、柔軟な働き方を選択することができる(「選択できる」+「どちらかといえば選択できる」)の割合が62.9%となっており、選択できない(「どちらかといえば選択できない」+「選択できない」)の37.1%を大きく上回っている。

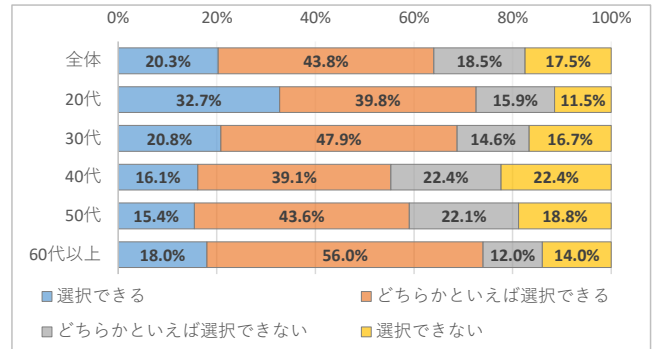
○選択できるの割合を属性別にみると、年代では20代(69.6%)、性別では女性(64.1%)が高くなっている。



【男性】



【女性】

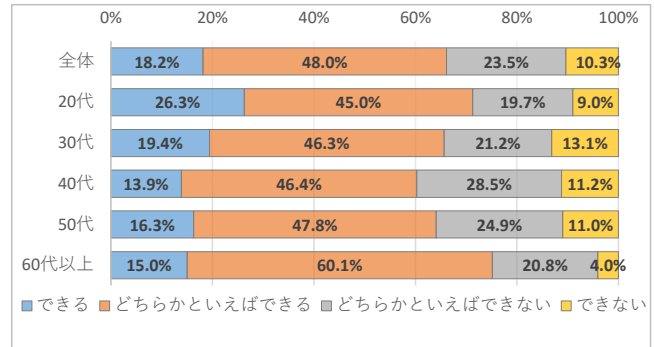


問3-5 育児や介護、病気等により、働き方に時間制約ができた場合、現在の職場で働き続けることができますか。

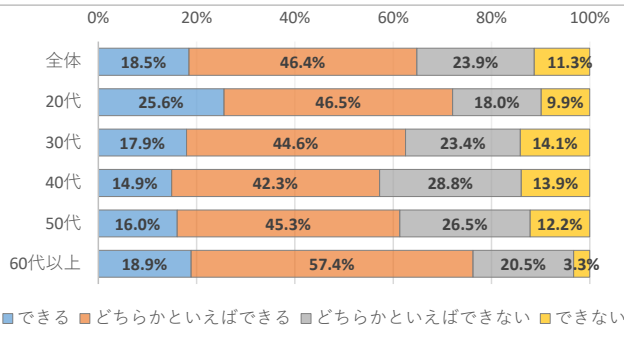
【全体】

○全体では、育児や介護、病気等により、働き方に時間制約ができた場合、現在の職場で働き続けることができる(「できる」+「どちらかといえばできる」)の割合が66.2%となっており、できない(「どちらかといえばできない」+「できない」)の33.8%を大きく上回っている。

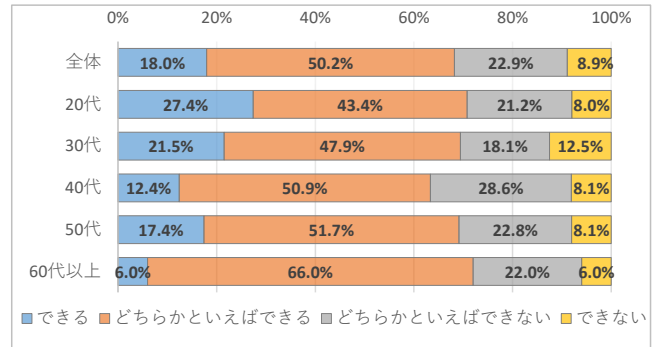
○できるの割合を属性別にみると、年代では60代以上(75.1%)、性別では女性(68.2%)が高くなっている。



【男性】



【女性】

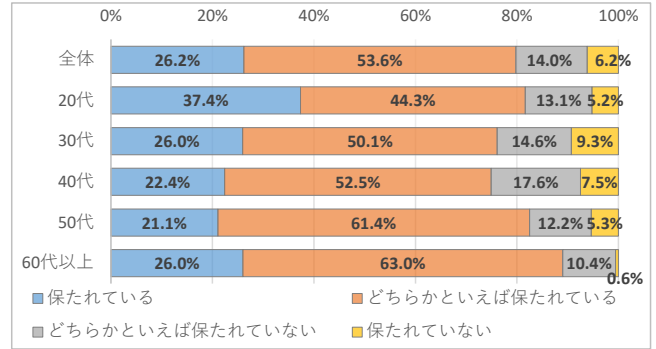


問3-7 現在、仕事とプライベートのバランスが保たれていますか。

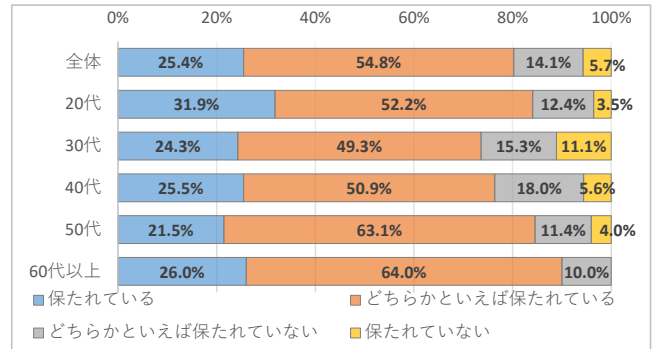
○全体では、仕事とプライベートのバランスが保たれている(「保たれている」+「どちらかといえば保たれている」)の割合が79.8%となっており、保たれていない(「どちらかといえば保たれていない」+「保たれていない」)の20.2%を大きく上回っている。

○保たれているの割合を属性別にみると、年代では60代以上(89.0%)が高く、性別では女性(80.2%)がやや高くなっている。

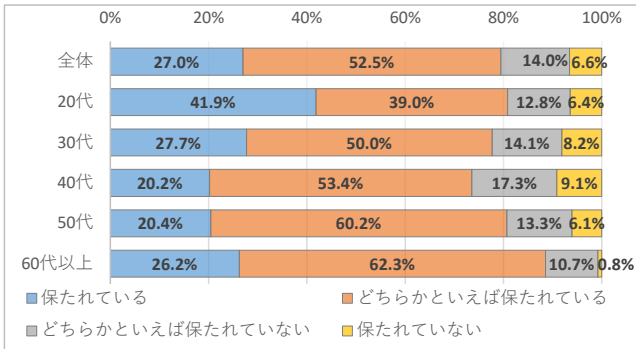
【全体】



【女性】



【男性】



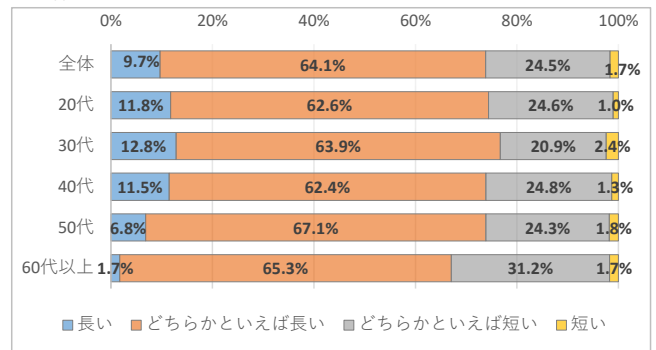
問3-8 ワーク・ライフ・バランスを保つ上で、自身の労働時間についてどのように感じていますか。

○全体では、ワーク・ライフ・バランスを保つ上で、自身の労働時間について長いと感じている(「長い」+「どちらかといえば長い」)の割合が73.8%、短いと感じている(「どちらかといえば短い」+「短い」)の26.2%を大きく上回っている。

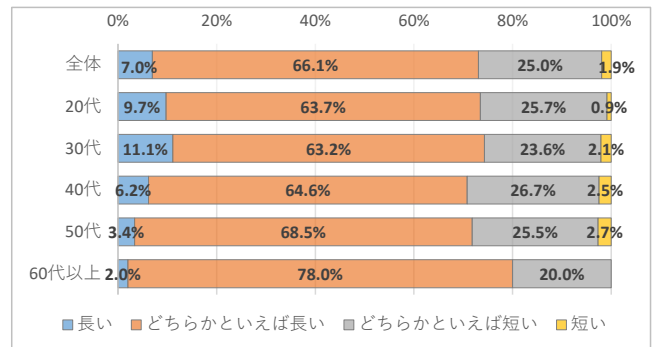
○長い割合を属性別にみると、年代では30代(76.7%)、性別では男性(75.0%)が高くなっている。

○短い割合を属性別にみると、年代では60代以上(32.9%)が高く、性別では女性(26.9%)がやや高くなっている。

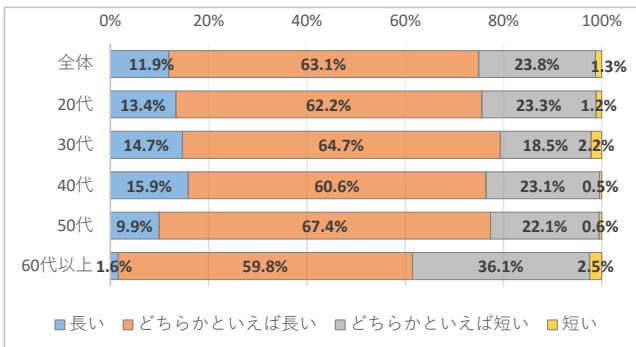
【全体】



【女性】



【男性】



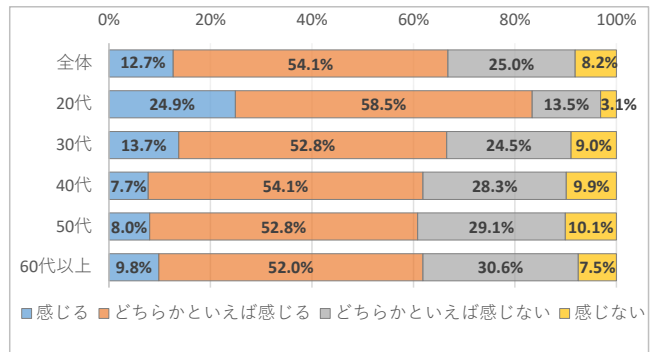
【4】 人事制度やキャリア開発、処遇についてお聞きします。

問4-1 あなたは適正に評価されていると感じますか。

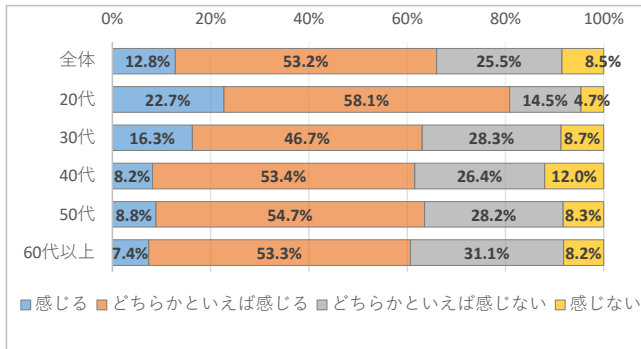
○全体では、適正に評価されていると感じる(「感じる」+「どちらかといえば感じる」)割合が66.8%となっており、感じない(「どちらかといえば感じない」+「感じない」)の33.2%を大きく上回っている。

○感じるの割合を属性別にみると、年代では20代(83.4%)、性別では女性(68.3%)が高くなっている。

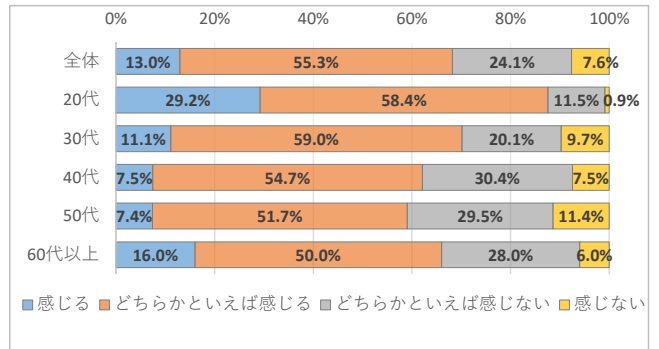
【全体】



【男性】



【女性】

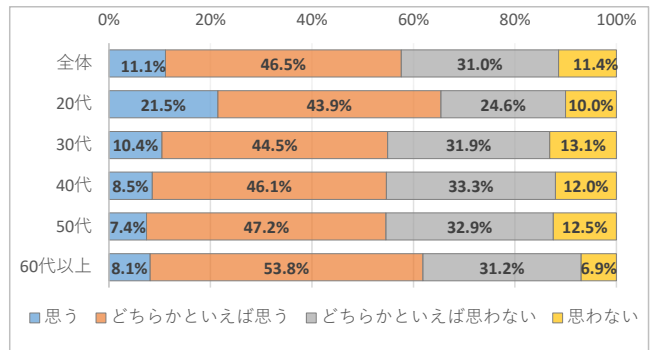


問4-2 現在の業務内容に対して自分の給料は適正だと思いますか。

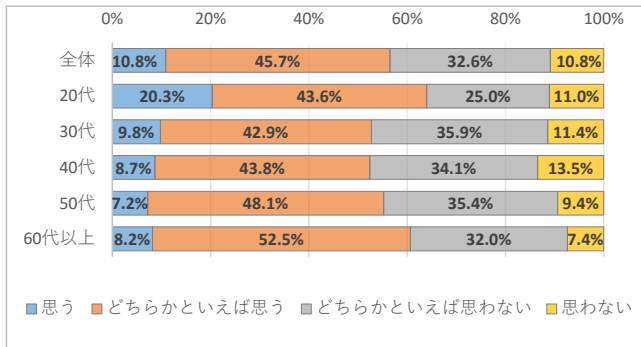
○全体では、業務内容に対して自分の給料は適正であると思う(「思う」+「どちらかといえば思う」)の割合が57.6%となっており、思わない(「どちらかといえば思わない」+「思わない」)の42.4%を上回っている。

○思うの割合を属性別にみると、年代では20代(65.4%)、性別では女性(59.5%)が高くなっている。

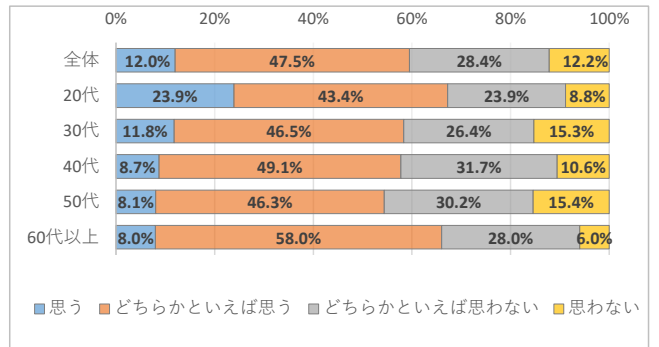
【全体】



【男性】



【女性】

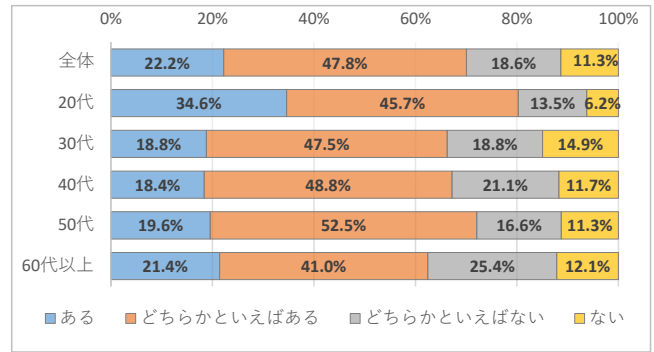


問4-3 社内外で学ぶ機会や制度がありますか。

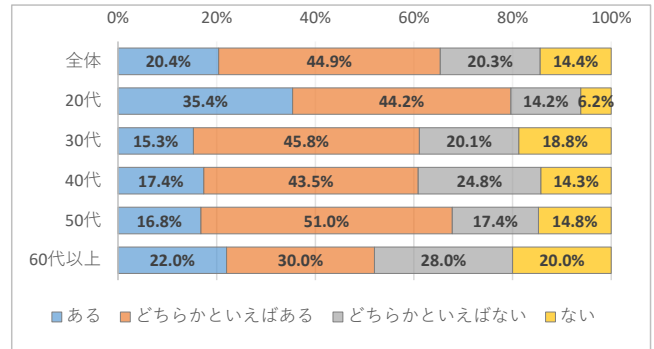
○全体では、社内外で学ぶ機会や制度がある(「ある」+「どちらかといえばある」)の割合が70.0%となっており、ない(「どちらかといえばない」+「ない」)の29.9%を大きく上回っている。

○あるの割合を属性別にみると、年代では20代(80.3%)、性別では男性(73.7%)が高くなっている。

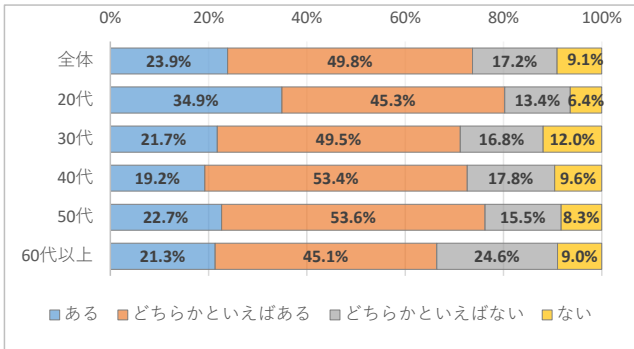
【全体】



【女性】



【男性】

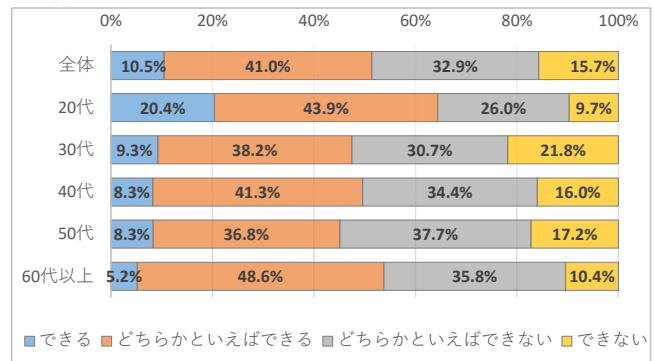


問4-4 長期的なキャリアについて方向性の相談やアドバイスを受けることができますか。

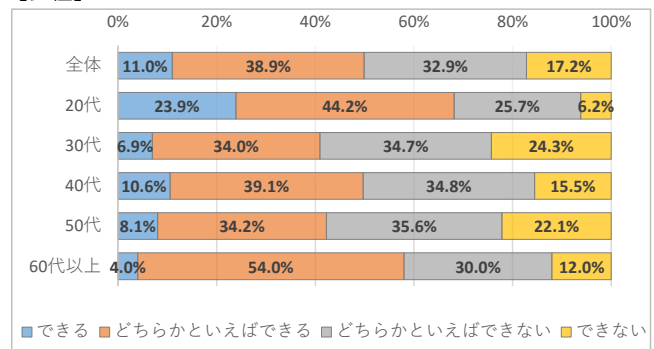
○全体では、長期的なキャリアについて方向性の相談やアドバイスを受けることができる(「できる」+「どちらかといえばできる」)の割合が51.5%となっており、できない(「どちらかといえばできない」+「できない」)の48.6%を上回っている。

○できるの割合を属性別にみると、年代では20代(64.3%)、性別では男性(52.9%)が高くなっている。

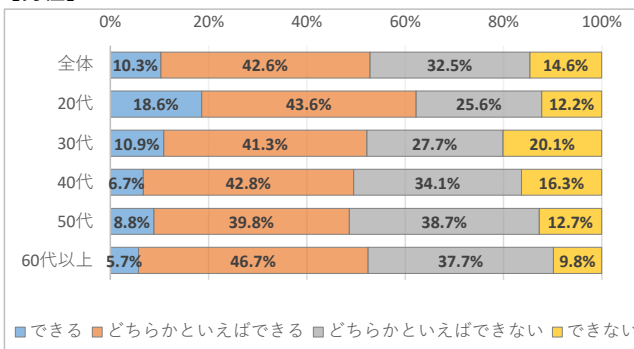
【全体】



【女性】



【男性】

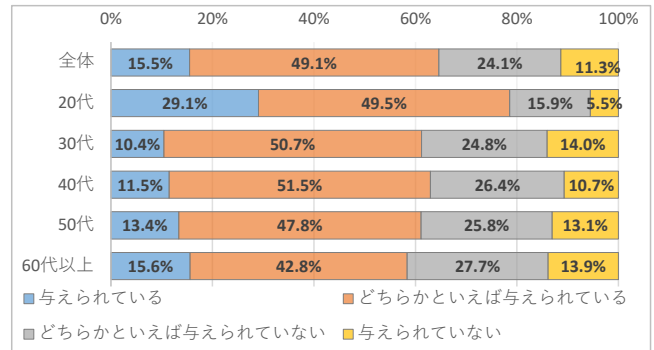


問4-5 キャリア開発や教育研修制度などスキルアップの機会が与えられていますか。

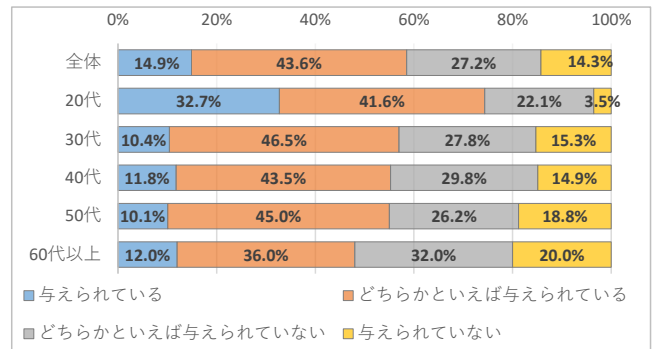
○全体では、スキルアップの機会が与えられている(「与えられている」+「どちらかといえば与えられている」)の割合が64.6%となっており、与えられていない(「どちらかといえば与えられていない」+「与えられていない」)の35.4%を大きく上回っている。

○与えられているの割合を属性別にみると、年代では20代(78.6%)、性別では男性(69.5%)が高くなっている。

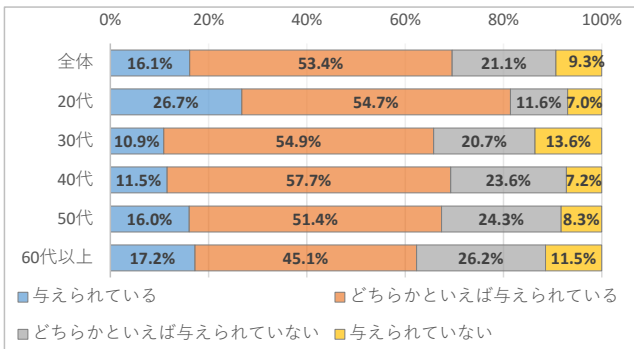
【全体】



【女性】



【男性】

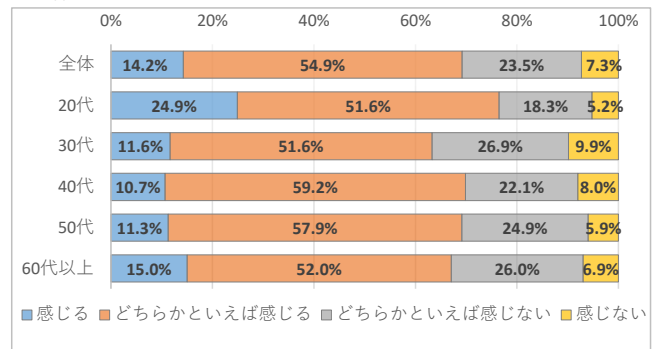


問4-6 仕事で自身の特技や特性、経験、技術や技能を生かすことができていると感じますか。

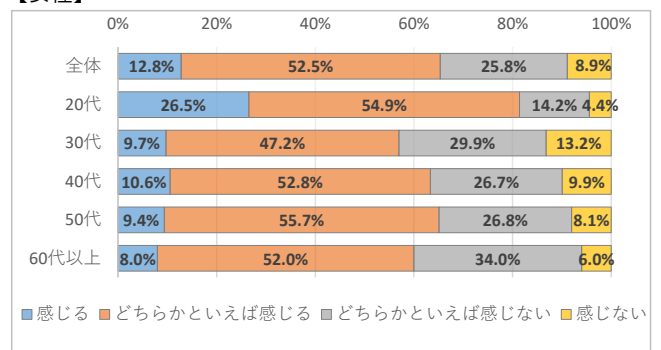
○全体では、自身の特技や特性、経験、技術や技能を生かすことができていると感じる(「感じる」+「どちらかといえば感じる」)の割合が69.1%となっており、感じない(「どちらかといえば感じない」+「感じない」)の30.8%を大きく上回っている。

○感じるの割合を属性別にみると、年代では20代(76.5%)、性別では男性(72.5%)が高くなっている。

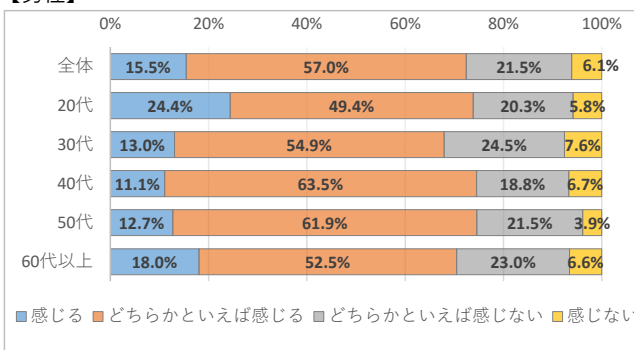
【全体】



【女性】



【男性】



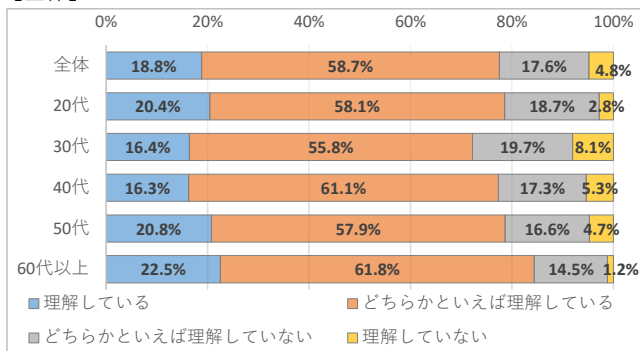
【5】 総括

問5-1 自社の経営理念やビジョンについて理解していますか。

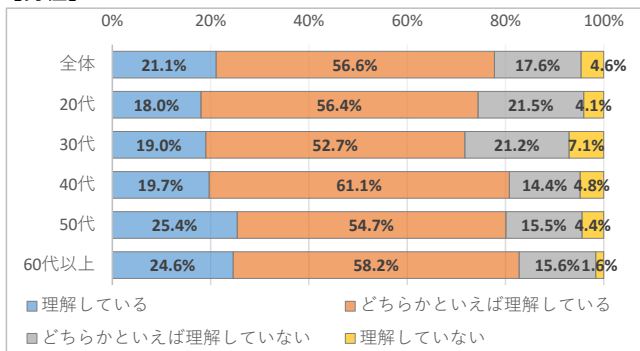
○全体では、経営理念やビジョンについて理解している（「理解している」+「どちらかといえば理解している」）の割合が77.5%となっており、理解していない（「どちらかといえば理解していない」+「理解していない」）の22.4%を大きく上回っている。

○理解しているの割合を属性別にみると、年代では60代以上（84.3%）が高く、性別では女性（77.8%）がやや高くなっている。

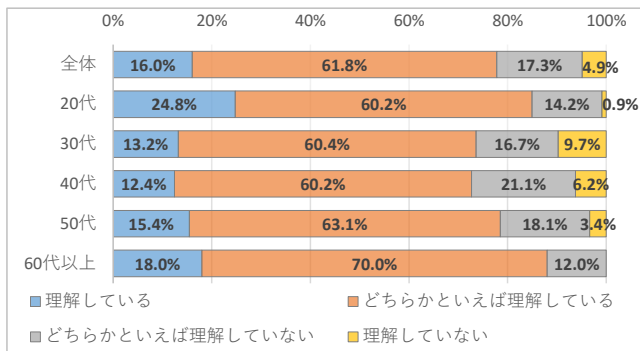
【全体】



【男性】



【女性】

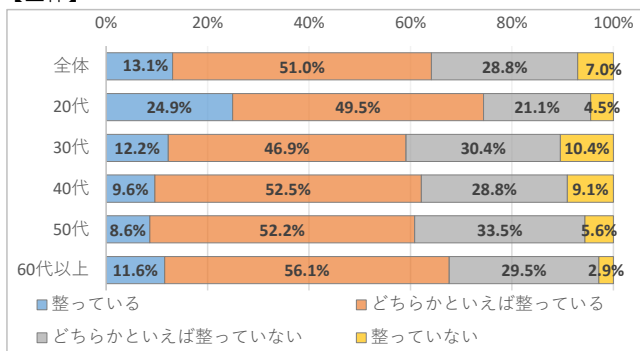


問5-2 業務効率を上げたり、快適に働いたりするために必要な設備や環境が整っていますか。

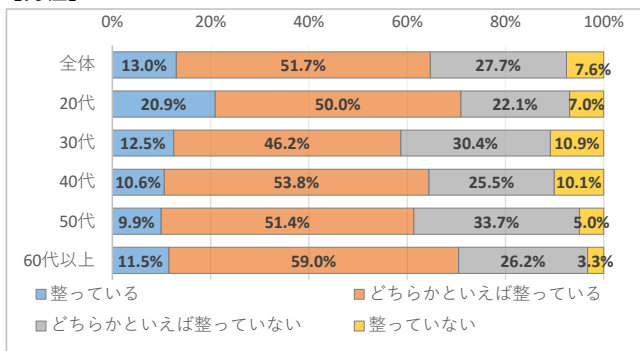
○全体では、業務効率を上げたり、快適に働いたりするために必要な設備や環境が整っている（「整っている」+「どちらかといえば整っている」）の割合が64.1%となっており、整っていない（「どちらかといえば整っていない」+「整っていない」）の35.8%を大きく上回っている。

○整っているの割合を属性別にみると、年代では20代（74.4%）が高く、性別では男性（64.7%）がやや高くなっている。

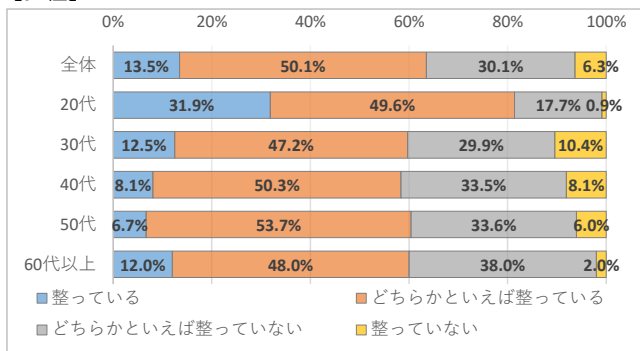
【全体】



【男性】



【女性】

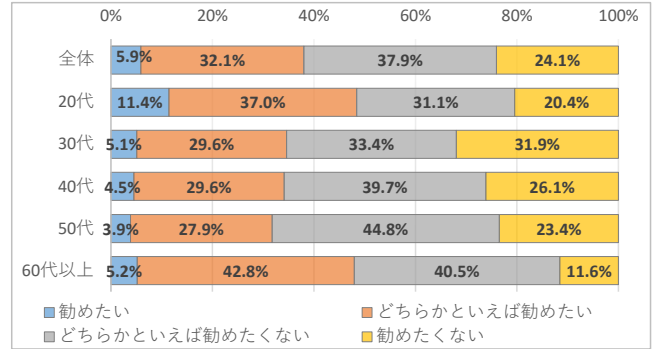


問5-4 あなたは友人や家族に、この会社で働くことを勧めたいと思いますか。

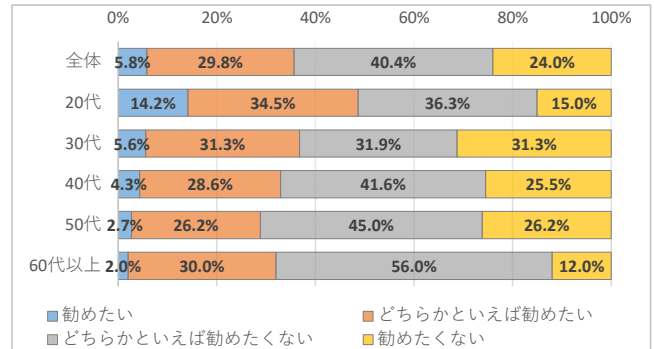
○全体では、友人や家族に、この会社で働くことを勧めたい(「勧めたい」+「どちらかといえば勧めたい」)の割合が38.0%となっており、勧めたくない(「どちらかといえば勧めたくない」+「勧めたくない」)の62.0%を下回っている。

○勧めたいの割合を属性別にみると、年代では20代(48.4%)がやや高く、性別では男性(40.0%)が高くなっている。

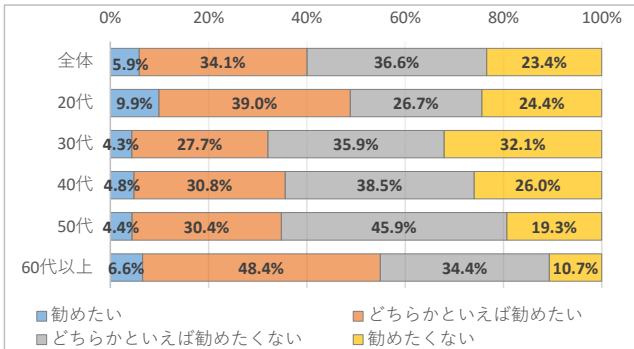
【全体】



【女性】



【男性】

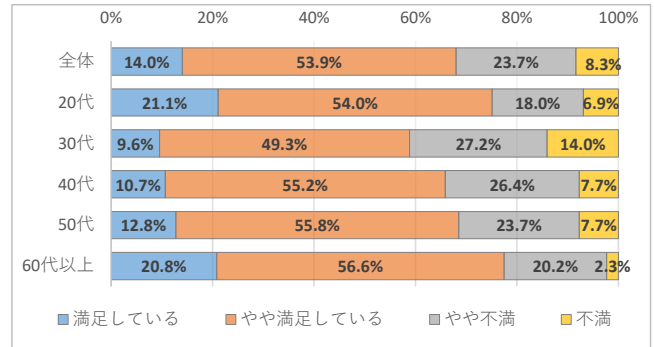


問5-6 あなたは現在の仕事に、総合的にどのくらい満足していますか。

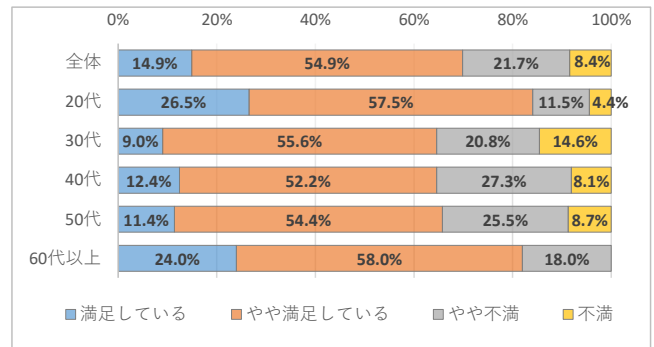
○全体では、現在の仕事に、総合的に満足している(「満足している」+「やや満足している」)の割合が67.9%となっており、不満(「やや不満」+「不満」)の32.0%を大きく上回っている。

○満足しているの割合を属性別にみると、年代では60代以上(77.4%)、性別では女性(69.8%)が高くなっている。

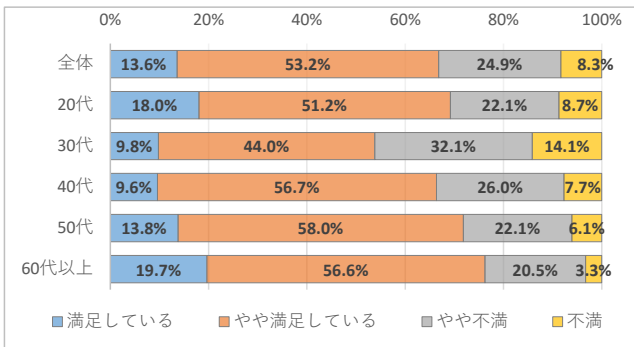
【全体】



【女性】



【男性】



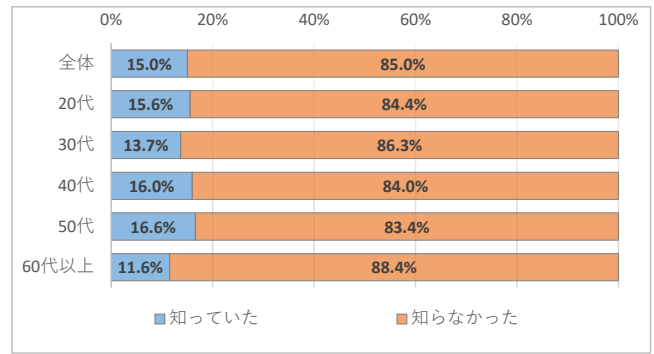
【6】「アンコンシャス・バイアス」についてお聞きします。

問6-1 「アンコンシャス・バイアス」とは、無意識の思いこみのことを言います。あなたは「アンコンシャス・バイアス」という言葉を知っていましたか。

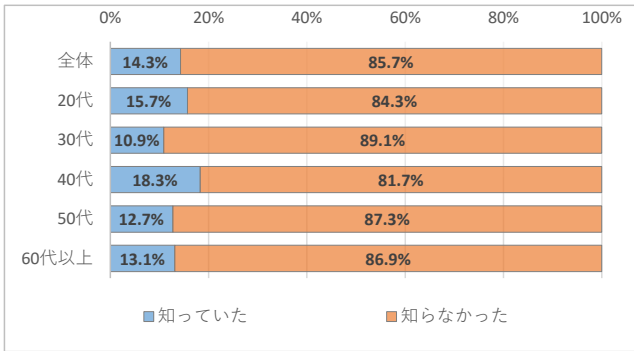
○全体では、「アンコンシャス・バイアス」という言葉を知っていたの割合が15.0%にとどまっており、知らなかったの85%を下回っている。

○知っていたの割合を属性別にみると、年代では50代(16.6%)がやや高く、性別では女性(16.0%)が高くなっている。

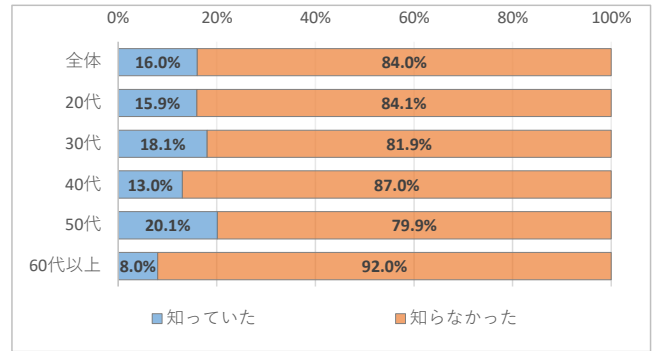
【全体】



【男性】



【女性】

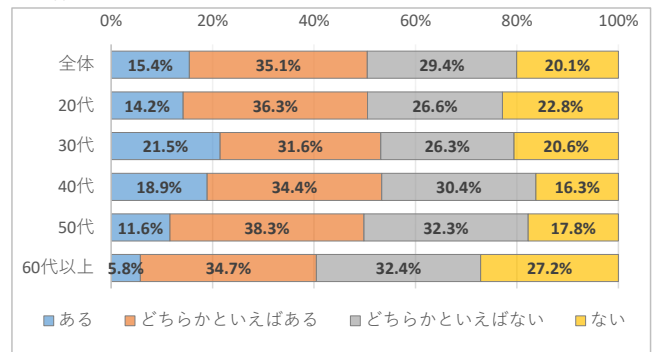


問6-2 「アンコンシャス・バイアス」には以下のような例があります。あなたが身近でアンコンシャス・バイアスを感じる機会がありますか。

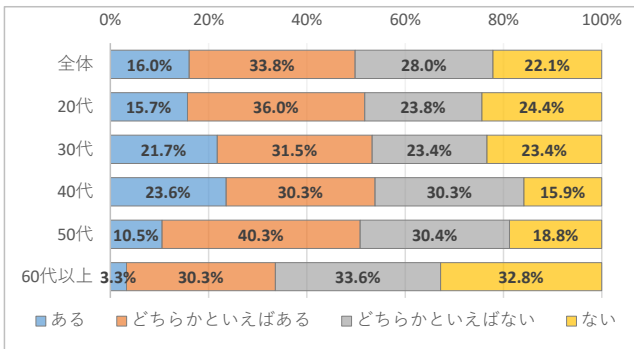
○全体では、アンコンシャス・バイアスを感じる機会はある(「ある」+「どちらかといえばある」)の割合が50.5%、ない(「どちらかといえない」+「ない」)の割合49.5%を上回っている。

○あるの割合を属性別にみると、年代では40代(53.3%)、性別では女性(51.1%)がやや高くなっている。

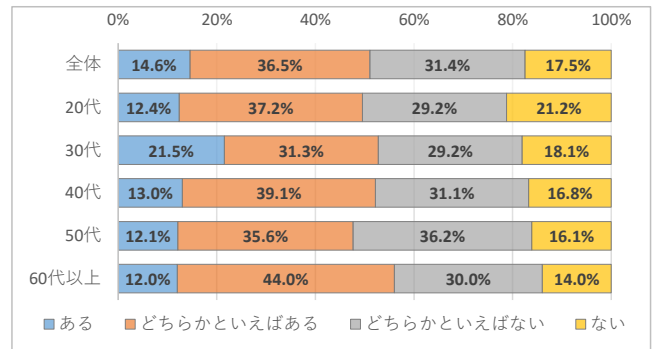
【全体】



【男性】



【女性】



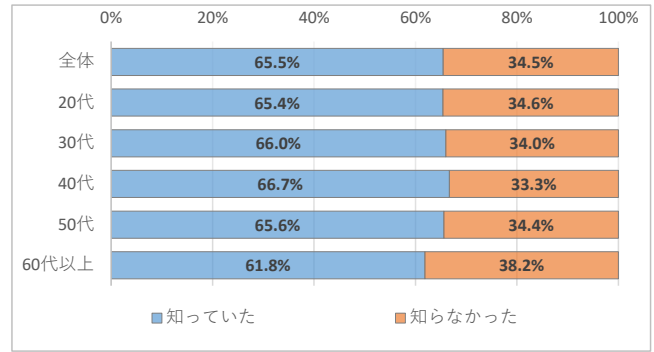
【7】「ジェンダー・ギャップ」についてお聞きします。

問7-1 「ジェンダー・ギャップ」とは、男女の性差によって生じる格差のことです。あなたは「ジェンダー・ギャップ」という言葉を知っていましたか。

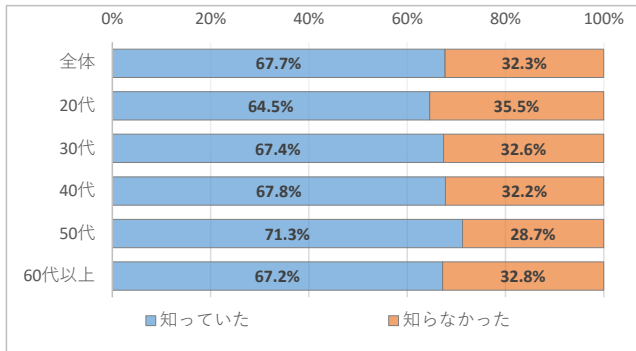
○全体では、「ジェンダー・ギャップ」という言葉を知っていたの割合が65.5%、知らなかったの割合34.5%を大きく上回っている。

○知っていたの割合を属性別にみると、年代では40代(66.7%)がやや高く、性別では男性(67.7%)が高くなっている。

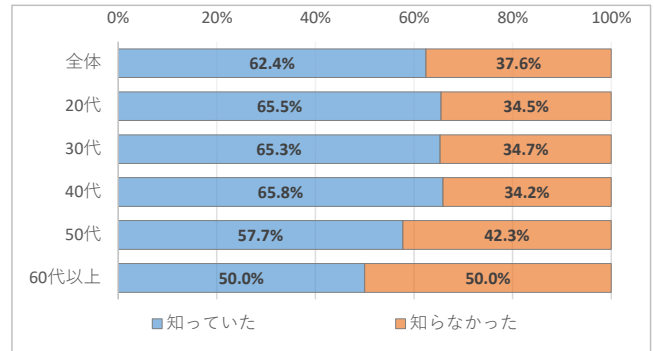
【全体】



【男性】



【女性】

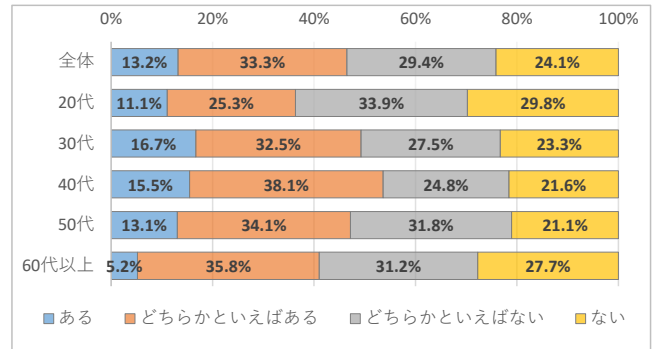


問7-2 あなたが身近でジェンダー・ギャップを感じる機会がありますか。

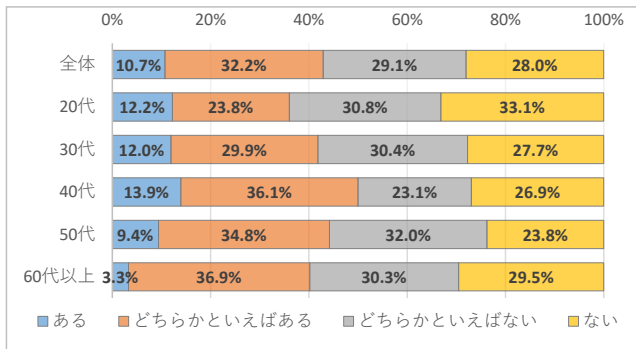
○全体では、身近でジェンダー・ギャップを感じる機会はある(「ある」+「どちらかといえばある」)の割合が26.5%、ない(「どちらかといえばない」+「ない」)53.5%を下回っている。

○あるの割合を属性別にみると、年代では40代(53.6%)、性別では女性(51.8%)が高くなっている。

【全体】



【男性】



【女性】

